

2重カンチレバー型 振動発電デバイス

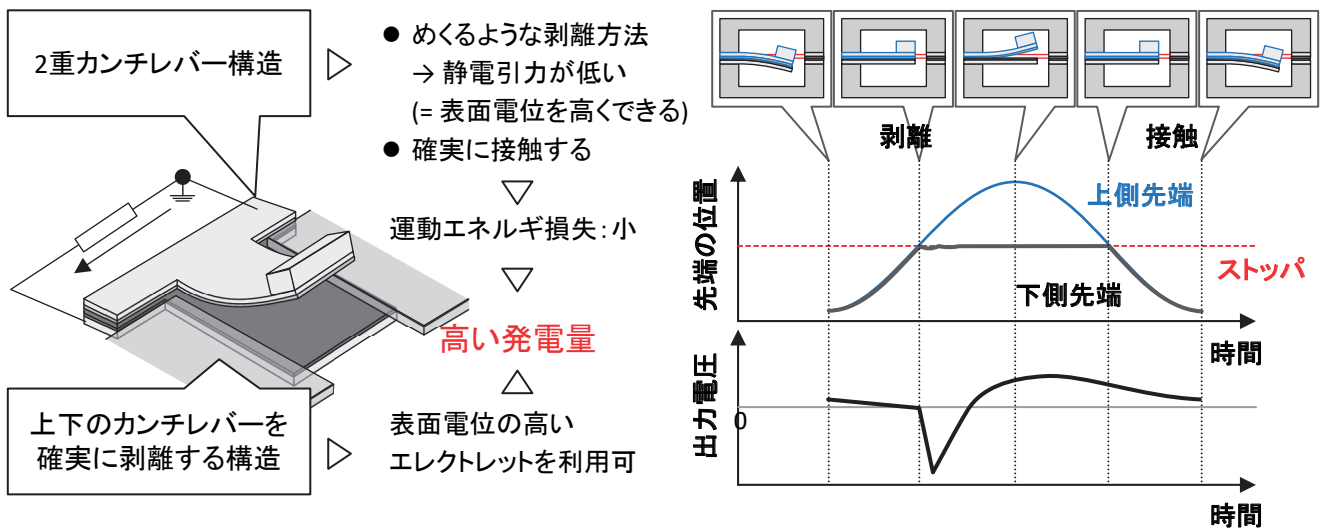
用途・応用分野

IoTやセンサネットワークでのセンサへの給電

本技術の特徴・従来技術との比較

- 0.2 G (1.96 m/s²), 13 Hzの振動で発電量が100 μW
- 従来のデバイスに比べて構造が単純
- エレクトレットを使用する

技術の概要



特許・論文

<特許>
「振動発電素子」(特開2018-191481)

研究者

高橋 智一
システム理工学部 機械工学科
ロボット・マイクロシステム研究室

